

虫歯より深刻「酸蝕症」

虫歯、歯周病に次ぐ第3の歯の疾患として、近年、酸蝕症（さんしょくしょう）が問題になっています。

酸蝕症は、ワイン、炭酸飲料、栄養ドリンク、かんきつ類、ドレッシング—酸性度の高い飲食物が原因で歯が溶ける病気のことを言います。



エナメル質が薄くなるにつれて、色の濃い象牙質が透けて見え、歯全体が黄ばんで見えてしまいます。



歯の先端部分がひび割れたり、歯が縮んだ（溶けた）ように見えます

歯は、強い酸に長い時間、または繰り返し触れていると、唾液の中和作用が間に合わなくなり、歯の表面のエナメル質が溶け、薄くなったり軟らかくなったりするのです。



進行すると、奥歯に凹みが現れることがあります。また、詰め物が浮いたり、外れたりすることもあります。

